

# 平成23年度開講予定科目の解説

## 国語

必履修の「国語総合①」では現代文分野を、「国語総合②」では古典分野を中心に学習を進めます。並行して漢字などの基本的な語彙練習も扱い、①では漢検5級レベルまで復習を含めて、②では2級即ち高校卒業レベルの漢字力が身につけられるよう、練習します。また選択科目では、小論文の書き方や古典の読解に至るまで幅広く扱います。出席や考査の点数だけでなく、課題提出や授業中の取り組み等を総合して評価しますが、「読む」「書く」「聞く」「話す」は皆さんにとって欠かせないものですので、真剣な学習姿勢を望みます。

国語総合①	2単位	必履修	
習熟度別に講座編成し、教科書の現代文分野を中心に学びます。小説や評論の読み方を基礎から学び、一般教養として読んでおきたい作品の読解を進めます。また漢字については、副教材を使って小中学校の復習を含めた練習を重ね、漢字検定5級レベルを目指します。必履修であり、出席はもちろん、課題提出等取り組みに関しては特に厳しくしていますが、やるべきことをきちんとやれば単位修得ができます。			

国語総合②	2単位	必履修	国語総合①を履修済みであることが望ましい。
習熟度別に講座編成し、国語総合①で使った教科書を継続使用して、古典分野を中心に学びます。古文・漢文に関する基礎知識や読み方を学び、一般教養として読んでおきたい作品の読解を進めます。また漢字については、①で使った副教材を継続使用して、中学の復習を含めた練習を重ね、漢字検定2級レベルを目指します。必履修であり、出席はもちろん、課題提出等取り組みに関しては特に厳しくしていますが、やるべきことをきちんとやれば単位修得ができます。			

国語表現Ⅰ	2単位	選択	国語総合①を履修済みであることが望ましい。
表現とはどういうことかを教科書を使って考えながら、実践的な練習も行います。具体的には、副教材を使って漢字・四字熟語・ことわざ等の意味と使い方から文学史的知識などに至るまで、日本語に関する一般常識とされることへの理解を広げます。また、原稿用紙の使い方や文章の構成など基本的なことがらを扱い、実際に「作文」や「小論文」を書く練習をします。就職や推薦入試を考えている人は避けて通れないと思われませんが、自覚をもって選択して下さい。			

現代文	2単位	選択	国語総合①を履修済みであること。
国語総合①での学習を発展させ、教科書を中心に、明治以降の「随筆」「小説」「評論」「詩」といった様々なジャンルの文章を読んでいきます。また、夏目漱石や森鷗外から現代の作家に至るまで、一度は読んでおきたい名作に触れる機会ともなります。さらにそれらを通し、「近代」から「現代」にかけて日本が歩んできた道筋や思想の系譜などにも及んで、狭義の「国語」に留まらず、総合的に考える時間となるでしょう。単なる読書のつもりで選択することのないようにして下さい。			

論述の基礎	2単位	選択	国語総合①を履修済みであること。
国語総合①で学んだ評論及び表現分野の学習を踏まえて、新聞のコラムや社説に関心を持つところから始めます。副教材や新聞等を使いながら、論理的に考えて表現するとはどういうことなのか、またそれにはどうしたらいいのかを考えながら、実際に意見を述べたり、文章を書いたりする練習も行います。就職希望者で、時事問題等への関心を深め、面接や作文における自己表現の基礎的事項を身につける必要のある生徒は選択するとよいでしょう。			

論点を探る	2単位	選択	国語総合①を履修済みであること。
国語総合①で学んだ評論の読解をさらに深めます。副教材を使いながら、現代社会で論点となっていることについて、より広い視野から考え、自分の意見を持てるようにすることを目標とします。問題点について各自で調べ、提出してもらったレポート等も課します。進学してから困らないよう、問題意識を持って意欲的に考えようとする人にお勧めです。小論文や面接を課される大学・短大への進学を希望する生徒は、現代社会のキーワードを押さえ、論点を踏まえた自己表現をする必要がありますので、選択するとよいでしょう。			

古典講読	2単位	選択	国語総合②を履修済みであること。
<p>国語総合②で学習した文語文法や漢文の訓読基礎の上に立って、教科書の作品を読解します。古文は説話や随筆など、漢文は史話から漢詩まで、副教材や辞書を使いこなしながら、さまざまな文章に触れることを目的とします。文法や訓読は復習しながら進めますが、基本的な事項が理解できていないと苦勞しますので、それなりの意欲も必要です。進学等で古典の必要な生徒は選択して下さい。</p>			

漢字と文化	2単位	選択	国語総合①を履修済みであることが望ましい。
<p>漢字は我が国の文化にとって欠くことのできないものです。単に漢字練習をするだけでなく、国語総合での基本的な学習を踏まえて、漢字熟語(四字熟語を含む)の意味を漢和辞典で調べ、その構成や慣用句についても考えてみます。基本的には副教材を使って進めますが、場合によっては原典(漢文)にあたり、発展的に漢文の学習も行います。そして、現代の文章の中で漢字や漢字熟語を使いこなせるような力をつけることを目標にします。出席のほか、課題提出に関しても厳しくしていますので、安易な選択はしないようにして下さい。なお、ここでの学習を生かして、漢字検定に挑戦することもできます。</p>			

-----  
 ※新2年次以降の生徒が受講する内容です。

漢字と文化	2単位	選択	※午前部新入生用です。(新2年次以降の生徒はできません。)
<p>中学までに学習した漢字の総復習から始め、国語に限らず、高等学校での学習全般に必要な漢字の語彙を養成することを目的とします。単に漢字練習をするだけでなく、今後の各教科での学習に必要な、やや専門的な用語についても意味を調べたりします。出席のほか、課題提出に関しても厳しくしていますので、安易な選択はしないようにして下さい。なお、ここでの学習を生かして、漢字検定に挑戦することもできます。</p>			